BHP1629202611

# つっぱり式パーテーション&スクリーンスタンドセット
# BHP-1629CSC　取扱説明書

**※小さなお子様がご使用になる場合は※**
**保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様に付き添ってください。**

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

**本製品はつっぱり式のカーテンレールとプロジェクタースクリーン用スタンドのセットです。**
**それ以外の用途では使用しないでください。**

**FOR USE IN JAPAN ONLY**
使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

## ■ 品質表示

| | |
|---|---|
| 型　　番 | BHP-1629CSC-BK |
| 寸　　法 | ポール2本継ぎの場合：幅164～285cm×奥行164～285cm×高さ168～227cm<br>ポール3本継ぎの場合：幅164～285cm×奥行164～285cm×高さ232～294cm |
| 素　　材 | 金属（スチール）、ABS、PP、PE、PA6、PVC、TPU |
| 原　産　国 | 中国 |
| 最大静止耐荷重 | パーテーション：10kg、スクリーンスタンド：5kg |

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。 |

○ 本製品は部屋の出入りを妨げる場所や、緊急時の避難を妨げる場所に設置しないでください。
○ 不要になった梱包袋を頭からかぶったりしないでください。窒息など重大な事故につながるおそれがあります。
○ 本製品の付近で火気を使用したり、火気や暖房器具の近くに設置したりしないでください。火災ややけどの原因となるおそれがあります。
○ 本製品の最大静止耐荷重は、パーテーション10kg、スクリーンスタンド5kgです。耐荷重を守り、荷重が均等に分散するように設置・使用してください。転倒・破損・落下により重大な事故につながるおそれがあります。
○ 手すり代わりの使用や、ぶら下がっての使用は絶対におやめください。転倒・破損・落下により重大な事故につながるおそれがあります。
○ 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。

| | |
|---|---|
| ⚠ **注意** | 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。 |

## ⚠ 組み立てのご注意

○ 組み立て・設置は必ず2人以上で行ってください。1人で作業すると、部品の落下や製品の転倒によりけがをするおそれがあります。
○ 組み立てる前に、各部品に不足や不具合がないかご確認ください。不足や不具合があった場合は直ちに組み立てを中止してください。
○ けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
○ 組み立ては周囲に何もない平らで広い場所で行い、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
○ 設置には高所作業を伴いますので、脚立等を使用して安全な足場を設けてください。

※当説明書内容の無断転用を禁止します。 Copyright 2026 be-s Co., Ltd. All rights reserved.

○ 設置面（床・天井）は水平かつ平坦で、十分な強度のある場所を選んでください。傾斜・段差のある場所、点検口・照明器具・エアコン等の直下または直上には設置しないでください。不安定な場所に設置すると、破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
○ 天井が石膏ボード等の軟質材の場合は、下地（野縁・梁）のある位置に設置してください。下地のない位置では十分な突っ張り力が得られず、転倒の原因となります。
○ 天井・床への設置面には保護材を挟んでいますが、設置場所の材質によっては色移り・可塑剤の移染が生じる場合があります。ご心配な場合は目立たない場所で確認のうえ設置してください。
○ 設置の際は、メジャー等を使用して垂直になっていることを必ず確認してください。
○ 設置後は各部品がしっかりと固定されていることを確認し、製品を上下・左右に軽く揺らしてがたつきがないことを確認してください。がたつきがある場合は、突っ張り部を締め直してから使用してください。
○ 直射日光に長時間さらされる場所、冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所、高温多湿な場所には設置しないでください。劣化や色あせ、サビなどが発生するおそれがあります。

## ⚠ 使用上のご注意

〈ご使用時〉
○ 本製品の一箇所に過度な荷重をかけたり、勢いよく力をかけたり、もたれかかったりするなど、無理な力を加えないでください。通常の数倍の荷重がかかり、破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
○ 濡れたものを掛けないでください。破損や劣化、サビの原因となるおそれがあります。
○ 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
○ スクリーンは左右2か所以上で吊り下げてください。1か所のみで吊り下げると、S字フックが横に滑り、スクリーンが落下するおそれがあります。
○ 巻取り式スクリーンの引き出し・収納は、必ず本製品から取り外した状態で行ってください。操作時の負荷により製品が転倒するおそれがあります。
〈移動時〉
○ 移動をする際は、一度組み立て前の状態に戻してください。移動中にパーツがはずれると、破損やけがをするおそれがあります。
○ 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。

## ■ 組み立て作業について

○ 組み立てに必要な工具はありません。すべての部品は工具を使わずに組み立てられます。
○ メジャー、脚立などの安定した足場をご用意いただくことをおすすめします（いずれも付属していません）。

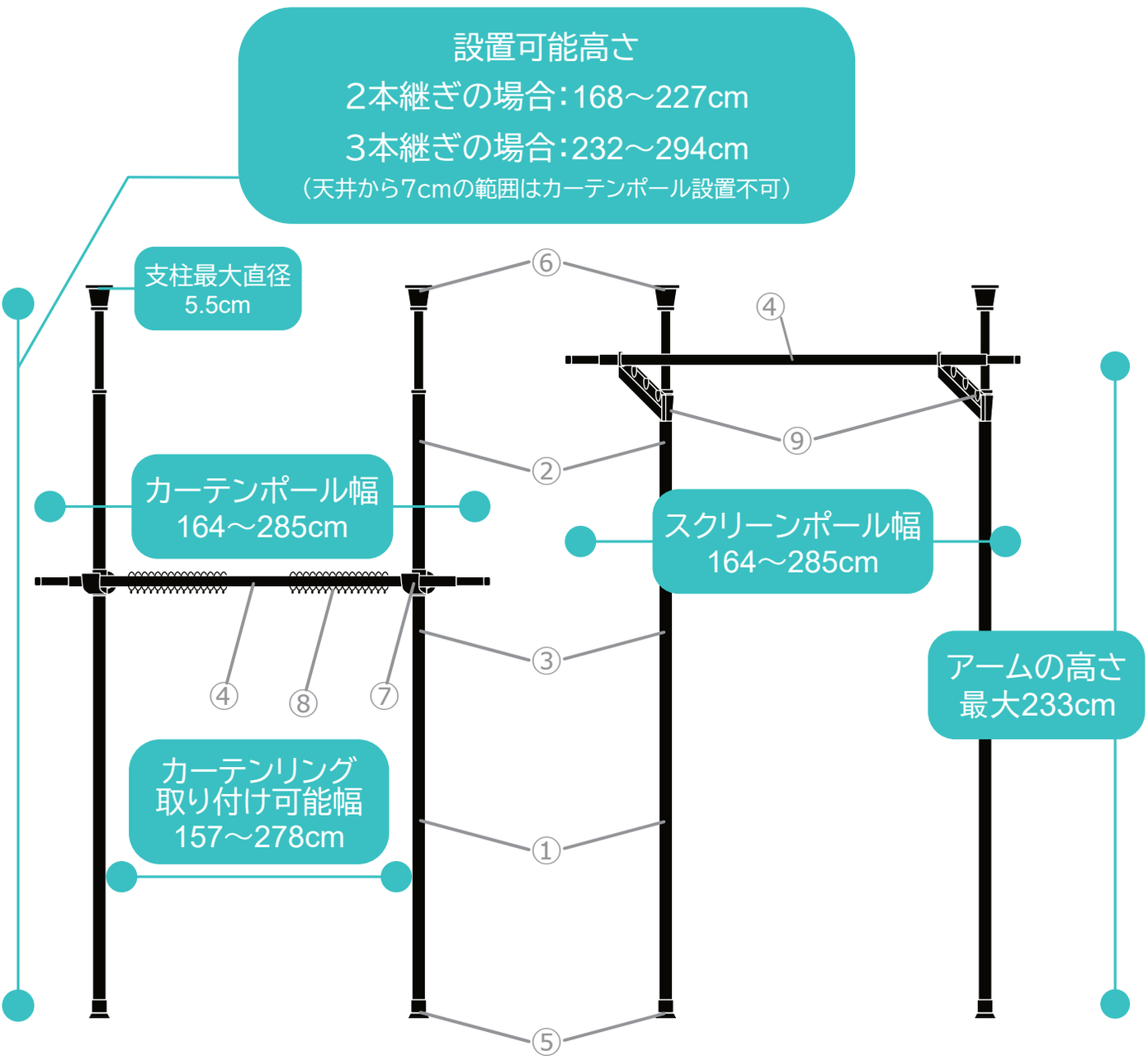
## ■ 快適にご使用いただくために

〈換気のお願い〉
○ 新品の家具には、使い始めに特有の「新しいにおい」がこもることがあります。より快適にご使用いただくため、開封・組み立て時には窓を開けるなど、風通しの良い場所での作業をおすすめします。
〈製品の特性について〉
○ 製品特性上、接続部分やパーツ取付部分などの箇所は傷が発生するおそれがあります。予めご了承ください。
○ 摩擦や汗・水濡れによって色落ち、色移りするおそれがあります。ご使用の際は予めご注意ください。

## ■ メンテナンス・廃棄方法

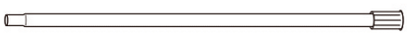
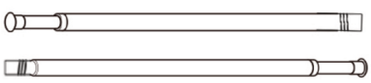
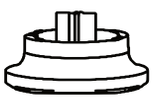
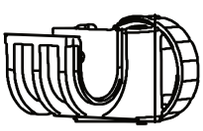
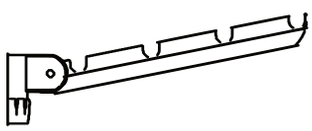
〈定期点検〉
○ ご使用中も月1回程度、突っ張り部の緩みおよび各部の固定状態を点検し、緩みがあれば必ず締め直してください。
〈お手入れ〉
○ 汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水で濡らした布をよく絞ってから拭き、最後に乾いた布で水分を拭き取ってよく乾燥させてください。シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉等は変色や劣化の原因となるため使用しないでください。
〈廃棄〉
○ 本製品を廃棄する際は、お住まいの自治体の区分に従って処分してください。

## ■ 部品全体図




<カーテンポール>　　<スクリーンスタンド>

## ■ 部品・付属品

| ① | 下部ポール | ② | 上部ポール | ③ | 中部ポール |
|---|---|---|---|---|---|
|  | |  | |  | |
| ×3 | | ×3 | | ×3 | |
| ④ | カーテンポール兼<br>スクリーンスタンドポール | ⑤ | 下部ポール用パーツ | ⑥ | 上部ポール用パーツ |
|  | |  | |  | |
| オス・メスそれぞれ　×3 | | ×3 | | ×3 | |
| ⑦ | カーテンポール用<br>固定パーツ | ⑧ | カーテン用リング | ⑨ | スクリーンスタンドポール用<br>アーム |
|  | |  | |  | |
| ×9 | | ×60 | | ×2 | |
| ⑩ | S字フック | ⑪ | スクリーン固定用ゴム | ⑫ | Bauhutteステッカー |
|  | |  | |  | |
| ×2 | | ×2 | | 長方形×1、丸型×2 | |

※カーテン、プロジェクタースクリーンは付属しません。

## ■ 組み立て手順

**１．下準備**

A. 高さ：設置予定場所の天井高を計測します。
（※このとき、支柱の設置場所に印をつけるなどして、完成時に支柱を並行・垂直に
設置しやすくなるようにしておくことをお勧めします）

B. 幅＆奥行：お手持ちのプロジェクタースクリーンの横幅を計測し、
「スクリーンサイズの横幅+4cm」の長さで設置予定場所に目印をつけます。

C. カーテンポールの設置高さ、スクリーンスタンドポールの設置高さを決定します。

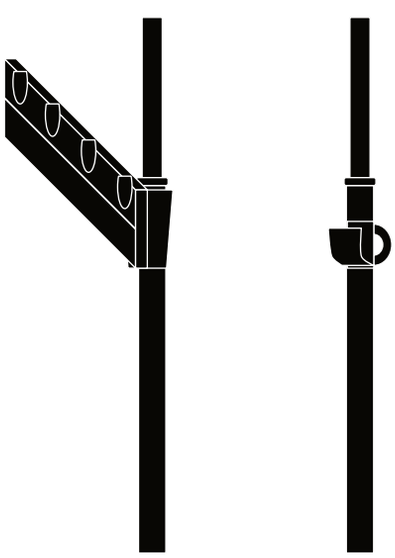



---

**２．支柱の準備**

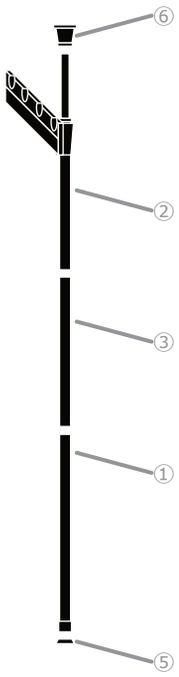
A. ②上部ポール に ⑨スクリーンスタンドポール用アーム を通し、仮止めします。（×2箇所）
<注意>⑨スクリーンスタンドポール用アーム は、②上部ポール を伸ばして出てくる
細い径のパイプには取り付けられませんのでご注意ください。

B. ②上部ポール に ⑦カーテンポール用固定パーツ を取り付け、仮止めします。（×4箇所）
⑦カーテンポール用固定パーツ は太い径・細い径どちらのパイプにも取り付け可能です。





## ３．支柱の組み立て




A. 下から順に、⑤下部ポール用パーツ 、①下部ポール 、③中部ポール 、
**2**で準備した②上部ポール 、⑥上部ポール用パーツ の順に
差し込み連結します。（×3本）

＜注意＞・「設置場所の高さ＋2cm」を目安に、
支柱全体の高さを伸縮させて調整してください。
・限界線（①下部ポールは赤いステッカー、
②上部ポール・③中部ポールは輪状の凹み）が
見える位置まで伸ばさないでください。転倒の原因になります。
・伸縮部は必ずしっかり締め付けてください。
緩んでいると転倒の原因になります。
・2本継ぎで設置する場合は、③中部ポール は不要です。








---

## ４．残りのポールの準備

A. ④カーテンポール兼スクリーンスタンドポール を組み立て、
設置場所の幅に合わせて伸縮させ、長さを調整し固定します。（×3本）

＜注意＞このポール④は2種類あり、ねじ切りがある部分の径が
細い方がオス、太い方がメスです。
オス側とメス側をねじり込んで1セットのポールとなります。



④オス



④メス

B. ⑧カーテン用リング を④カーテンポール に通します。
通す個数はお手持ちのカーテンの仕様に合わせてください。
（※このとき、カーテン用リングにカーテンをつけておくと、
高所でのカーテン取り付けが不要となり作業の負担が少なくなります）



**５．支柱を突っ張る**

A. **1-A**、**1-B**で確認した設置場所 へ、**3**で準備した支柱 を突っ張ります。（×3本）
＜注意＞高所作業を伴いますので、安全に細心の注意を払ってください。

B. 突っ張ったあと、①下部ポール にある調整ネジを「伸びる」の方向へ回すことで、
固定力を上げることができます。








---

**６．カーテンポールを渡してカーテンを設置する**

A. **1-C**で決定したカーテンポールの設置高さ に、
支柱上の⑦カーテンポール用固定パーツ を調整し、固定します。

B. **4-B**で準備したカーテン付きのカーテンポール を、
⑦カーテンポール用固定パーツ にはめて設置します。



**７．スクリーンスタンドポールを渡してプロジェクタースクリーンを設置する**

A. **1-C**で決定したスクリーンスタンドポールの設置高さ に、
支柱上の⑨スクリーンスタンドポール用アーム を調整し、固定します。

B. **4-A**で準備したスクリーンスタンドポール を、
支柱上の⑨スクリーンスタンドポール用アーム にはめて設置します。

C. ⑩S字フック をスクリーンスタンドポールにかけて、
お手持ちのプロジェクタースクリーンを設置します。

D. プロジェクタースクリーンに傾斜をつけて設置したいときは、
⑦カーテンポール用固定パーツ と ⑪スクリーン固定用ゴム で、
プロジェクタースクリーンの下部を支柱に固定してください。



---

**８．完成です！**

⑫Bauhutteステッカーは、お好みの位置に貼り付けてください。

